

横須賀市病院事業会計予算

平成28年度横須賀市病院事業会計予算

(総 則)

第1条 平成28年度横須賀市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

1 市民病院事業

(1) 病 床 数	482床	
一 般 病 床	476床	
感染症病床	6床	
(2) 年間患者数		
入院 (感染症病床を含む)	81,760人	
外来	171,405人	
(3) 一日平均患者数		
入院 (感染症病床を含む)	224人	
外来	585人	
(4) 主要な建設改良事業		
建物改修		186,682千円
有形固定資産購入		210,209千円

2 うわまち病院事業

(1) 病 床 数	417床	
一 般 病 床	367床	
療 養 病 床	50床	
(2) 年間患者数		
入院 (一般病床)	107,675人	
入院 (療養病床)	17,520人	
合 計	125,195人	
外来	147,965人	
(3) 一日平均患者数		
入院 (一般病床)	295人	
入院 (療養病床)	48人	
合 計	343人	
外来	505人	

(4) 主要な建設改良事業

建物改修	48,686千円
有形固定資産購入	122,218千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 市民病院事業収益		730,000千円
第1項 医業収益		405,350千円
第2項 医業外収益		323,650千円
第3項 特別利益		1,000千円
第2款 うわまち病院事業収益		648,000千円
第1項 医業収益		282,546千円
第2項 医業外収益		364,454千円
第3項 特別利益		1,000千円
合計		1,378,000千円

	支	出
第1款 市民病院事業費用		820,000千円
第1項 医業費用		779,295千円
第2項 医業外費用		38,705千円
第3項 特別損失		1,000千円
第4項 予備費		1,000千円
第2款 うわまち病院事業費用		648,000千円
第1項 医業費用		583,893千円
第2項 医業外費用		62,107千円
第3項 特別損失		1,000千円
第4項 予備費		1,000千円
合計		1,468,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 666,206千円は、過年度分損益勘定留保資金 627,750千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額38,456千円で補てんするものとする。）。

	収	入
第1款 市民病院資本的収入		782,794千円
第1項 企業債		228,300千円
第2項 出資金		211,000千円
第3項 補助金		343,494千円

第2款 うわまち病院資本的収入	235,000千円
第1項 出 資 金	235,000千円
合 計	1,017,794千円
支 出	
第1款 市民病院資本的支出	1,090,000千円
第1項 建設改良費	396,891千円
第2項 企業債償還金	693,109千円
第2款 うわまち病院資本的支出	594,000千円
第1項 建設改良費	170,904千円
第2項 企業債償還金	423,096千円
合 計	1,684,000千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

(単位 千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
市民病院 建物改修費に充当	113,100	普通貸借又は証券発行	8.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金についてはその融資条件により、その他の場合には借入れの日から据置期間を含め、30年以内に償還する。ただし財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は本議決の範囲内で未償還額を借換えすることができる。事業の進捗等により起債額の全部又は一部を翌年度に繰越しあるいは限度額の範囲内において一時借入金又は短期債を起すことができる。
市民病院 有形固定資産 購入費に充当	115,200			

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、次のとおりと定める。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 市民病院事業 | 900,000千円 |
| 2 うわまち病院事業 | 500,000千円 |

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- | |
|-----------------|
| 1 市民病院事業 |
| (1) 予定支出の各項間の経費 |
| 2 うわまち病院事業 |
| (1) 予定支出の各項間の経費 |

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

1 市民病院事業

(1) 職員給与費 38,647千円

(2) 交際費 50千円

2 うわまち病院事業

(1) 職員給与費 39,063千円

(2) 交際費 50千円

(他会計からの補助金)

第9条 事業助成のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、次のとおりである。

1 市民病院事業 291,000千円

2 うわまち病院事業 7,000千円

平成28年2月17日提出

横須賀市長 吉田雄人

平成28年度横須賀市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 事業収益			730,000	
	1 医業収益		405,350	
		1 他会計 負担金	384,000	一般会計負担金
		2 その他 医業収益	21,350	診断書料ほか
	2 医業外収益		323,650	
		1 受取利息	220	貸付金利息
		2 補助金	11,068	国庫補助金、県補助金
		3 他会計 補助金	7,000	一般会計補助金
		4 他会計 負担金	251,000	一般会計負担金
		5 長期前受金 戻入	13,109	長期前受金収益化額
		6 その他 医業外収益	16,158	雑収入
		7 雑収益	25,095	還付消費税及び地方消費税
	3 特別利益		1,000	
		1 過年度損益 修正益	1,000	過年度収入

款	項	目	予定額	備 考
2 うわまち病院 事業収益			648,000	
	1 医業収益		282,546	
		1 他会計 負担金	256,000	一般会計負担金
		2 その他 医業収益	26,546	診断書料ほか
	2 医業外収益		364,454	
		1 受取利息	852	預金利息、有価証券利息
		2 補助金	18,056	国庫補助金
		3 他会計 補助金	7,000	一般会計補助金
		4 他会計 負担金	130,000	一般会計負担金
		5 長期前受金 戻入	64,386	長期前受金収益化額
		6 その他 医業外収益	130,151	指定管理者負担金、雑収入
		7 雑収益	14,009	還付消費税及び地方消費税
	3 特別利益		1,000	
		1 過年度損益 修正益	1,000	過年度収入
合 計			1,378,000	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 事業費用	1 医業費用		820,000	
			779,295	
		1 給 与 費	38,647	給料、手当等ほか
		2 経 費	136,983	施設及び設備修繕費ほか
		3 減価償却費	596,165	有形固定資産償却費
		4 資産減耗費	7,500	固定資産除却費
		2 医業外費用	38,705	
		1 支払利息 及び企業債 取扱諸費	32,442	企業債利息ほか
		2 雑 損 失	6,263	
		3 特別損失	1,000	
		1 過年度損益 修正損	1,000	過年度支出
		4 予 備 費	1,000	
		1 予 備 費	1,000	

款	項	目	予定額	備 考
2	うわまち病院 事業費用		648,000	
	1	医業費用	583,893	
		1 給 与 費	39,063	給料、手当等ほか
		2 経 費	152,655	施設及び設備修繕費ほか
		3 減価償却費	384,675	有形固定資産償却費
		4 資産減耗費	7,500	固定資産除却費
	2	医業外費用	62,107	
		1 支 払 利 息 及び企業債 取 扱 諸 費	59,248	企業債利息ほか
		2 雑 損 失	2,859	
	3	特別損失	1,000	
		1 過年度損益 修 正 損	1,000	過年度支出
	4	予 備 費	1,000	
		1 予 備 費	1,000	
合 計			1,468,000	

資本的収入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 資本的収入	1 企業債		782,794	
		1 企業債	228,300	建物改修、有形固定資産購入
	2 出資金		211,000	
		1 一般会計 出資金	211,000	
	3 補助金		343,494	
		1 補助金	59,494	
	2 他会計 補助金	284,000	一般会計補助金	
2 うわまち病院 資本的収入	1 出資金		235,000	
		1 一般会計 出資金	235,000	
合 計			1,017,794	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 資本的支出	1 建設改良費		1,090,000	
			396,891	
		1 建物改修費	186,682	地域包括ケア病棟開設工事、蒸気ボイラー更新工事
		2 有形固定 資産購入費	210,209	医療機械購入費
	2 企業債 償還金		693,109	
		1 企業債 償還金	693,109	病院改修事業費公債ほか
2 うわまち病院 資本的支出	1 建設改良費		594,000	
			170,904	
		1 建物改修費	48,686	電話交換機更新工事、院内宿舍等防水工事
		2 有形固定 資産購入費	122,218	医療機械購入費
	2 企業債 償還金		423,096	
		1 企業債 償還金	423,096	病院改修事業費公債ほか
合 計			1,684,000	

平成28年度横須賀市病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位 千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
(1)	当年度純損失	△128,456
(2)	減価償却費	980,840
(3)	資産減耗費	15,000
(4)	退職給付引当金の増加額	16,662
(5)	賞与引当金の増加額	42
(6)	法定福利費引当金の増加額	20
(7)	長期前受金戻入額	△77,495
(8)	受取利息	△1,072
(9)	支払利息及び企業債取扱諸費	91,690
(10)	未収金の減少額	10,097
(11)	未払金の減少額	<u>△8,797</u>
	小計	898,531
(12)	利息の受取額	1,072
(13)	利息及び企業債取扱諸費の支払額	<u>△91,909</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	807,694
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
(1)	有形固定資産の取得による支出	△571,786
(2)	補助金による収入	<u>59,494</u>
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△512,292

3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	(1) 建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	228,300
	(2) 建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△803,519
	(3) その他の企業債の償還による支出	△312,686
	(4) 他会計からの出資による収入	446,000
	(5) 他会計からの補助金による収入	<u>284,000</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△157,905
4	資金増加額	137,497
5	資金期首残高	<u>2,709,214</u>
6	資金期末残高	<u><u>2,846,711</u></u>

給 与 費 明 細 書

1 総 括

(単位 千円)

区 分		職 員 数		給 与 費					法 定 福 利 費	合 計	
		特 別 職 (人)	一 般 職 (人)	報 酬	給 料	賃 金	手 当	計			
本 年 度	損益勘定 支弁職員	市民病院	8	6	0	13,023		20,039	33,062	5,225	38,287
	うわまち病院	416			13,023		20,039	33,478	5,225	38,703	
前 年 度	損益勘定 支弁職員	市民病院	8	6	0	13,095		29,858	42,953	4,519	47,472
	うわまち病院	416			13,095		29,858	43,369	4,519	47,888	
比 較	損益勘定 支弁職員	市民病院	0	0	0	△72		△9,819	△9,891	706	△9,185
	うわまち病院	0			△72		△9,819	△9,891	706	△9,185	

(単位 千円)

手 当 の 内 訳	区 分		扶 養 手 当	地 域 手 当	期 末、勤 勉 手 当	管 理 職 手 当	時 間 外 勤 務 手 当
	本 年 度	市 民 病 院		531	1,407	5,957	510
う わ ま ち 病 院			531	1,407	5,957	510	2,225
前 年 度	市 民 病 院		485	1,409	6,107	503	2,241
	う わ ま ち 病 院		485	1,409	6,107	503	2,241
比 較	市 民 病 院		46	△2	△150	7	△16
	う わ ま ち 病 院		46	△2	△150	7	△16
本 年 度	区 分		退 職 手 当	通 勤 手 当	住 居 手 当		
	市 民 病 院		8,331	328	750		
前 年 度	市 民 病 院		18,111	390	612		
	う わ ま ち 病 院		18,111	390	612		
比 較	市 民 病 院		△9,780	△62	138		
	う わ ま ち 病 院		△9,780	△62	138		

2 給料及び手当の増減額の明細

(単位 千円)

区分	増減額	増減事由別内訳	説明	備考	
給料	△144	1. 昇給に伴う増加分	320		平均昇給率 1.4%
		2. その他の増減分	△464	人事異動新陳代謝等に伴う増減分 △464	
手当	△19,638	1. 制度改正に伴う増加分	265	期末、勤勉手当 265	期末、勤勉手当 年間支給率(月分)の状況 本年度 4.2月分 前年度 4.1月分 増減 0.1月分
		2. その他の増減分	△19,903	扶養手当 92 地域手当 △4 期末、勤勉手当 △565 管理職手当 14 時間外勤務手当 △32 退職手当 △19,560 通勤手当 △124 住居手当 276	

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		一 般 職	区 分		一 般 職
28年1月1日 現 在	平均給料月額	317,850円	27年1月1日 現 在	平均給料月額	350,500円
	平均給与月額	401,338円		平均給与月額	434,699円
	平均年齢	39歳8月		平均年齢	45歳2月

(2) 初任給

区 分	学 歴	一 般 職
市	大学卒	182,300円
	高校卒	150,900円
国の制度	大学卒	総合職 181,200円 一般職 176,700円
	高校卒	一般職 144,600円

(3) 級別職員数

区 分	一 般 職			区 分	一 般 職		
	級	職員数(人)	構成比(%)		級	職員数(人)	構成比(%)
28年1月1日 現 在	8 級			27年1月1日 現 在	8 級		
	7 級	1	16.7		7 級		
	6 級				6 級		
	5 級				5 級		
	4 級	1	16.7		4 級	2	40.0
	3 級	1	16.7		3 級	2	40.0
	2 級	3	50.0		2 級	1	20.0
	1 級				1 級		
	計	6	100.0		計	5	100.0

※構成比欄の数字は、表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合していない。

(級別の標準的な職務内容)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
一般職	補助的な業務に従事する担当者	担当者	高度な知識を要する担当者	係長及び主査	高度な知識を要する係長及び主査	課 長	高度な知識を要する課長	部 長

(4) 昇給

区 分		一 般 職	
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	6	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	6	
	号給数別内訳	1号給 (人)	
		2号給 (人)	
		3号給 (人)	1
		4号給 (人)	5
比 率 (B) / (A) (%)	100		
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	6	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	6	
	号給数別内訳	1号給 (人)	
		2号給 (人)	1
		3号給 (人)	
		4号給 (人)	5
比 率 (B) / (A) (%)	100		

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の級等による加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.025	2.175	4.2	有	
前 年 度	1.975	2.125	4.1	有	
国の制度	2.025	2.175	4.2	有	

(6) 定年退職及び勸奨退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最 高 限 度 (月分)
支 給 率 等	25.55625	34.5825	49.59	49.59
国 の 制 度 (支給率等)	25.55625	34.5825	49.59	49.59

(7) 地域手当

区 分	一 般 職
支給対象地域	全 地 域
支給率 (%)	10
支給対象職員数 (人)	6
国の指定基準に 基づく支給率(%)	10

(8) 特殊勤務手当

区 分	一 般 職
給料総額に対する比率 (%)	0
支給対象職員の比率 (%) (28年1月1日現在)	0
代表的な特殊勤務手当の名称	-

(9) その他の手当

区 分		市	国
扶 養 手 当	配 偶 者	14,100円	13,000円
	配偶者以外の扶養親族	6,600円	6,500円
	配偶者のない職員の 扶養親族のうち1人	11,600円	11,000円
	扶養親族でない配偶者が ある場合のうち1人	7,600円	6,500円
	満16歳の年度初めから満22 歳の年度末までの子(加算)	5,500円	5,000円
住 居 手 当	30,900円を限度	27,000円を限度	
通 勤 手 当	55,000円を限度 (片道2km未満を除く。)	55,000円を限度 (片道2km未満を除く。)	

平成28年度横須賀市病院事業予定貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位 千円)

		資 産 の 部		
1	固 定 資 産			
	(1) 有 形 固 定 資 産			
	ア 土 地		3,854,206	
	イ 建 物	17,459,595		
	ウ 構 築 物	707,074		
	エ 器 具 及 び 備 品	5,800,410		
	減価償却累計額	<u>△13,991,945</u>	<u>9,975,134</u>	
	有形固定資産合計			13,829,340
	(2) 無 形 固 定 資 産			
	ア 電 話 加 入 権		<u>3,681</u>	
	無形固定資産合計			<u>3,681</u>
	固 定 資 産 合 計			13,833,021
2	流 動 資 産			
	(1) 現 金 預 金			2,846,711
	(2) 未 収 金		57,437	
	貸 倒 引 当 金		<u>△11,825</u>	45,612
	(3) 前 払 費 用			<u>21</u>
	流 動 資 産 合 計			<u>2,892,344</u>
	資 産 合 計			<u>16,725,365</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 5,112,378

企業債合計 5,112,378

(2) 引当金

ア 退職給付引当金 67,564

引当金合計 67,564

固定負債合計 5,179,942

4 流動負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 710,519

イ その他の企業債 312,686

企業債合計 1,023,205

(2) 未払金 105,142

(3) 未払費用 4,848

(4) 引当金

ア 賞与引当金 3,580

イ 法定福利費引当金 640

引当金合計 4,220

(5) 預り金 3,170

流動負債合計 1,140,585

5 繰延収益

(1) 長期前受金

ア 受贈財産評価額 881,774

イ 補助金 959,170

ウ その他長期前受金 102,291

収益化累計額 △1,097,440

長期前受金合計 845,795

繰延収益合計 845,795

負債合計 7,166,322

資 本 の 部

6	資 本 金		
	(1) 資 本 金	<u>11,585,956</u>	
	資 本 金 合 計		11,585,956
7	剰 余 金		
	(1) 資 本 剰 余 金		
	ア 受 贈 財 産 評 価 額	2,055,771	
	イ 補 助 金	17,300	
	ウ 寄 附 金	1,000	
	エ その他資本剰余金	<u>1,704,000</u>	
	資 本 剰 余 金 合 計		3,778,071
	(2) 欠 損 金		
	ア 当 年 度 未 処 理		
	欠 損 金	<u>5,804,984</u>	
	欠 損 金 合 計		<u>5,804,984</u>
	剰 余 金 合 計		<u>△2,026,913</u>
	資 本 合 計		<u>9,559,043</u>
	負 債 資 本 合 計		<u>16,725,365</u>

注記

I. 重要な会計方針に係る事項

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

ア 減価償却の方法	定額法
イ 減価償却の開始時期	事業の用に供した日の属する月から
ウ 主な耐用年数	
建物	6～47年
構築物	3～50年
器具及び備品	1～20年

2 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 法定福利費引当金

賞与引当金に対応する額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に表示されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、「病院事業会計基準外繰出し金に関する基準」に基づき、他会計が負担すると見込まれる額は283,556千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に充てるため、賞与引当金 3,538千円を使用する。

(2) 法定福利費引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金取崩しに対応する法定福利費引当金 620千円を使用する。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当会計は、市民病院、うわまち病院の2つの施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、「市民病院事業」、「うわまち病院事業」の2つを報告セグメントとしている。

各施設については、分離された財務情報が入手可能であり、予算審議及び決算認定をするために、定期的に市議会に報告する対象となっているものである。

各施設の事業内容は、以下のとおりである。

区 分	事 業 の 内 容
市民病院事業	地域医療支援病院、災害拠点病院
うわまち病院事業	地域医療支援病院、救命救急センター

2 報告セグメントごとの資産等

当年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

（単位 千円）

	市民病院	うわまち病院	合 計
セグメント資産	7,027,411	9,767,954	16,725,365
セグメント負債	2,752,572	4,483,750	7,166,322
その他の項目 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	381,688	190,098	571,786

※各病院のセグメント資産及びセグメント負債は、病院間融通があるため合計の数値と一致しない。

IV. 減損損失

1 グルーピングの方法

キャッシュ・フローを生成する最小単位として病院施設を単位とし、遊休資産については個々の物件単位でグルーピングしている。

2 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用 途	種 類	場 所
市民病院	土地、建物、器具及び備品	横須賀市長坂1丁目

上記資産グループは、業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、減損の兆候を認識しているが、割引前キャッシュ・フローの総額が帳簿価格を上回るため、減損損失を認識していない。

平成27年度横須賀市病院事業予定損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位 千円)

1 医業収益			
(1) 他会計負担金	640,000		
(2) その他医業収益	<u>44,749</u>	684,749	
2 医業費用			
(1) 給与費	95,902		
(2) 経費	302,812		
(3) 減価償却費	969,097		
(4) 資産減耗費	<u>57,632</u>	<u>1,425,443</u>	
医業損失			740,694
3 医業外収益			
(1) 受取利息	920		
(2) 補助金	29,966		
(3) 他会計補助金	14,000		
(4) 他会計負担金	379,000		
(5) 長期前受金戻入	79,277		
(6) その他 医業外収益	<u>170,025</u>	673,188	
4 医業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	103,036		
(2) 雑損失	<u>17,483</u>	<u>120,519</u>	<u>552,669</u>
経常損失			188,025
5 特別利益			
(1) 過年度 損益修正益	<u>2,000</u>	2,000	
6 特別損失			
(1) 減損損失	224,020		
(2) 過年度 損益修正損	<u>2,000</u>	<u>226,020</u>	<u>△224,020</u>

7 予 備 費

(1) 予 備 費	<u>2,000</u>	<u>2,000</u>	<u>△2,000</u>
当 年 度 純 損 失			414,045
前 年 度 繰 越 欠 損 金			<u>5,262,483</u>
当 年 度 未 処 理 欠 損 金			<u>5,676,528</u>

平成27年度横須賀市病院事業予定貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位 千円)

		資 産 の 部	
1	固 定 資 産		
	(1) 有形固定資産		
	ア 土 地	3,854,206	
	イ 建 物	17,225,430	
	ウ 構 築 物	707,074	
	エ 器具及び備品	5,768,647	
	減価償却累計額	<u>△13,296,104</u>	<u>10,405,047</u>
	有形固定資産合計		14,259,253
	(2) 無形固定資産		
	ア 電話加入権	<u>3,681</u>	
	無形固定資産合計		<u>3,681</u>
	固定資産合計		14,262,934
2	流 動 資 産		
	(1) 現金預金		2,709,214
	(2) 未 収 金	67,535	
	貸倒引当金	<u>△11,825</u>	55,710
	(3) 前 払 費 用		<u>21</u>
	流動資産合計		<u>2,764,945</u>
	資 産 合 計		<u>17,027,879</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 5,594,598

イ その他の企業債 312,686

企業債合計 5,907,284

(2) 引当金

ア 退職給付引当金 50,902

引当金合計 50,902

固定負債合計 5,958,186

4 流動負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 803,519

イ その他の企業債 312,686

企業債合計 1,116,205

(2) 未払金 119,799

(3) 未払費用 5,067

(4) 引当金

ア 賞与引当金 3,538

イ 法定福利費引当金 620

引当金合計 4,158

(5) 預り金 3,170

流動負債合計 1,248,399

5 繰延収益

(1) 長期前受金

ア 受贈財産評価額	881,773	
イ 補助金	899,676	
ウ その他長期前受金	102,291	
収益化累計額	<u>△1,019,945</u>	
長期前受金合計		<u>863,795</u>
繰延収益合計		<u>863,795</u>
負債合計		<u>8,070,380</u>

資 本 の 部

6 資本金

(1) 資本金

資本金合計		<u>11,139,956</u>	11,139,956
-------	--	-------------------	------------

7 剰余金

(1) 資本剰余金

ア 受贈財産評価額	2,055,771	
イ 補助金	17,300	
ウ 寄附金	1,000	
エ その他資本剰余金	<u>1,420,000</u>	
資本剰余金合計		3,494,071

(2) 欠損金

ア 当年度未処理欠損金	<u>5,676,528</u>	
欠損金合計		<u>5,676,528</u>
剰余金合計		<u>△2,182,457</u>
資本合計		<u>8,957,499</u>
負債資本合計		<u>17,027,879</u>

注記

I. 重要な会計方針に係る事項

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く。）

ア 減価償却の方法	定額法
イ 減価償却の開始時期	事業の用に供した日の属する月から
ウ 主な耐用年数	
建物	6～47年
構築物	3～50年
器具及び備品	1～20年

(2) リース資産

- ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

2 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 法定福利費引当金

賞与引当金に対応する額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に表示されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、「病院事業会計基準外繰出し金に関する基準」に基づき、他会計が負担すると見込まれる額は567,556千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に充てるため、賞与引当金 2,138千円を使用する。

(2) 法定福利費引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金取崩しに対応する法定福利費引当金 413千円を使用する。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当会計は、市民病院、うわまち病院の2つの施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、「市民病院事業」、「うわまち病院事業」の2つを報告セグメントとしている。

各施設については、分離された財務情報が入手可能であり、予算審議及び決算認定をするために、定期的に市議会に報告する対象となっているものである。

各施設の事業内容は、以下のとおりである。

区 分	事 業 の 内 容
市民病院事業	地域医療支援病院、災害拠点病院
うわまち病院事業	地域医療支援病院、救命救急センター

2 報告セグメントごとの事業収益等

当年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

（単位 千円）

	市民病院	うわまち病院	合 計
医業収益	405,259	279,490	684,749
医業費用	831,398	594,045	1,425,443
医業損益	△426,139	△314,555	△740,694
経常損益	△172,313	△15,712	△188,025
セグメント資産	7,276,106	10,021,773	17,027,879
セグメント負債	3,382,085	4,958,295	8,070,380
その他の項目			
収益的収入他会計繰入金	643,000	390,000	1,033,000
資本的収入他会計繰入金	468,000	253,000	721,000
減価償却費	583,083	386,014	969,097
特別利益	1,000	1,000	2,000
特別損失	225,020	1,000	226,020
うち減損損失	224,020	0	224,020
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	480,926	113,208	594,134

※各病院のセグメント資産及びセグメント負債は、病院間融通があるため合計の数値と一致しない。

IV. 減損損失

1 グルーピングの方法

キャッシュ・フローを生成する最小単位として病院施設を単位とし、遊休資産については個々の物件単位でグルーピングしている。

2 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用 途	種 類	場 所
市民病院	土地、建物、器具及び備品	横須賀市長坂1丁目

上記資産グループは、業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、

減損の兆候を認識しているが、割引前キャッシュ・フローの総額が帳簿価格を上回るため、減損損失を認識していない。

3 減損損失を認識した資産グループの概要

(1) 減損損失を認識した固定資産

ア 固定資産の概要

用途	種類	場所
遊休資産	土地、建物	横須賀市長坂3丁目
遊休資産	土地、建物	横須賀市太田和2丁目
遊休資産	土地、建物、構築物	横須賀市太田和2丁目

イ 減損損失を認識するに至った経緯

上記資産は、遊休状態にあり回収可能価額が帳簿価額を下回る見込みであるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上した。

ウ 減損損失の金額及び主な固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種類	金額
土地	36,907千円
建物	185,233千円
構築物	1,880千円

エ 回収可能価額の算定方法

当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、転売や転用が困難な資産は正味売却価額を備忘価額とした。